

歯科口腔保健に関する  
市町村計画と実施施策から  
推察される課題について

## 1 計画および指標について

- (1) 特定のライフステージ(例:学齢期)あるいは障害者(定期的に歯科健診または歯科医療を受けることが困難な人)等の領域の欠落がみられることがある
- (2) 指標の直近値が、既に目標値より改善した値になっていることがある
- (3) 指標の目標値が、「増加」等、具体的に設定されていないことがある

## 2 施策について

- (1) 計画で指標設定しているにもかかわらず、その指標を改善するための施策が実施されていない、もしくは施策のアウトプットが著しく小さいことがある
- (2) 施策を実施しているが、その施策の計画での位置づけや指標設定がないことがある
- (3) 事業の主旨として福祉的な意味合いが強く、健康施策としての効果があまり期待できないものがある
- (4) 施策のアウトプットが不良(例:実施回数に比して実績人数が著しく少)で、事業周知や実施スキーム等に課題があると思われることがある

事業周知の例:事業の内容、対象者、申込方法を広報するホームページ(健康カレンダー)の記載内容がわかりにくい

実施スキームの例:① 事前申込制で実施  
② 平日昼間に実施  
③ 集団方式で実施